

# やまぐち農林水産業成長産業化行動計画について

## 1 策定の趣旨

今後 10 年程度を見通した本県農林水産業のあるべき姿を見据え、当面、5 年後の着地点までの着実な歩みを刻む行動計画として策定

## 2 計画期間

2018 年度（平成 30 年度）～2022 年度（5 年間）

## 3 計画の概要

### (1) 基本的な考え方

需要の拡大に対応できるよう生産力を増強するため、生産の大宗を担い、地域を牽引する中核経営体を育成して、これらが核となった生産構造へと改革し、本県農林水産業の成長産業化を実現

### (2) 施策推進の 4 つの柱（次項に施策体系）

- ・ 未来を担う人材や中核経営体の確保・育成
- ・ 生産意欲と需要を創造する「ぶちうま！維新」
- ・ 需要に的確に応える生産力の増強
- ・ 生産や地域を支える基盤整備・防災力強化

### (3) 主要な目標

目 標 項 目		2017	2022
農業中核経営体数	(経営体)	427	500
新規就業者数（累計）	(人)	788/4 年	1,100/5 年
経営体において経営参画した女性数	(人)	229	269
ぶちうま産直市場の発注件数	(年間)	1,019	1,800
農林水産物等の輸出商品数	(商品)	75	150
酒米生産量	(t)	663	750
県産木材供給量	(万 m <sup>3</sup> )	27.6	30.0
基幹漁業の新興件数	(件)	0	2
JGAP 認証件数	(件)	12	30
生産性向上に資する研究成果件数	(件)	0	10
鳥獣による農林業被害額	(億円/年)	4.7	3
ため池の整備	(箇所)	1,583	1,683

## 「3つの維新」への挑戦

# 産業維新 大交流維新 生活維新

## 中核経営体を核とした山口県農林水産業の成長産業化

### 1 未来を担う人材や中核経営体の確保・育成

「日本一の担い手支援策」を強化するとともに、経営発展を目指す担い手が、本県農林水産業の生産の大宗を担い、新規就業者の受け皿ともなって地域を牽引する中核経営体へと成長・発展するための対策

- (1) 中核経営体の育成と経営基盤の強化
- (2) 新規就業者の確保・定着
- (3) 農山漁村女性リーダー・女性経営参画者の育成
- (4) 「農林業の『知』と『技』の拠点」の形成

目標項目数：10

### 2 生産意欲と需要を創造する「ぶちうま！維新」

やまぐちブランドを中心に、本県の魅力ある農林水産物の情報発信を戦略的に展開し、国内・海外に向けた販路拡大・需要拡大対策を講じるとともに、消費者ニーズに的確に応え意欲をもって生産に取り組めるよう新たに需給連携のしくみを構築

- (1) 県産農林水産物のブランド力強化
- (2) 大都市圏や海外への販路拡大
- (3) 地産・地消の取組強化
- (4) 6次産業化・農商工連携の一体的な取組強化

目標項目数：10

### 3 需要に的確に応える生産力の増強

県産農林水産物の需要拡大に的確に対応し、計画的かつ効率的な生産活動を展開できるよう、先端・先進技術を積極的に取り入れた研究開発強化対策など、総合的な生産力の増強対策

- (1) 需要のある農畜産物の結びつき強化・生産拡大
- (2) 需要に応える木材供給力の強化
- (3) 水産資源の適切な管理による漁業生産力の向上
- (4) 安心・安全な農水産物の供給
- (5) 防疫体制の強化
- (6) 先端・先進技術の活用等研究開発の強化

目標項目数：26

### 4 生産や地域を支える基盤整備・防災力強化

農林水産業の生産基盤を計画的に整備するとともに、鳥獣被害の防止対策や、農林水産業・農山漁村が有する多面的機能の維持・発揮対策、近年の多発する自然災害に備えた防災・減災機能の強化対策

- (1) 生産基盤の整備
- (2) 鳥獣被害防止対策の強化
- (3) やまぐち森林づくり県民税等の活用
- (4) 多面的機能の維持・発揮
- (5) 防災・減災機能の強化

目標項目数：23